

令和2年11月2日

報道機関各位

熊本大学

熊本大学病院 高度医療開発センター

「新興感染症対策寄附講座」設置記念式典について

令和2年11月1日に、熊本市からの寄附により、新型コロナウイルス感染症等、新興感染症に対応する専門医育成のための熊本大学病院高度医療開発センター「新興感染症対策寄附講座」が、熊本大学病院に設置されました。

つきましては、下記のとおり、設置記念式典を举行しますので、当日の取材方、よろしくお願いいたします。なお、準備のため、別紙の連絡票にてご連絡いただければ幸いです。

記

【日時】 令和2年11月8日（日） 10時00から

【場所】 熊本大学臨床医学研究棟7階

総合臨床研究部会議室 （熊本市中央区本荘 1-1-1）

【式次第】 （1）開式の辞

（2）学長挨拶

熊本大学長 原田 信志

（3）熊本市長挨拶

熊本市長 大西 一史

（4）寄附目録授与

（5）病院長挨拶

熊本大学病院長

病院経営担当理事・副学長 谷原 秀信

（6）看板除幕

（7）写真撮影

（8）閉式の辞

<会場：熊本大学 本荘北キャンパス>

地図中⑨の建物（臨床医学研究棟）の7階になります。



～本件照会先～

熊本大学病院事務部総務課総務担当

電話：096-373-5904

FAX：096-373-5906

熊本大学病院 高度医療開発センター 「新興感染症対策寄附講座」について

<概要>

2020 年初めより世界的流行を来している新型コロナウイルス感染症をはじめとする新興感染症の予防と治療に対して周到な準備を整えるため、熊本市の寄附により、熊本大学病院高度医療開発センター内に新興感染症対策寄附講座を設置する。

<設置目的>

新興感染症発生時に医学的・社会的な課題に実効的に対処できる専門医の育成、パンデミックの際に地域の最前線となる感染症指定医療機関を中心とした医療対策に関連する研究等を行うことを目的とする。

<設置期間>

令和2年11月1日から令和7年10月31日まで（5年間）

<寄附予定金額>

令和2年度 12,508千円

（令和3年度以降は熊本市議会における予算成立を条件に金額を決定）

<教員組織の構成>

教授1名（熊本大学大学院生命科学研究部呼吸器内科学講座教授の兼務による）

専任特任講師1名、専任特任助教2名 計4名

<講座の活動内容>

感染症専門医の育成については、日本感染症学会が指定するカリキュラムに基づき、講座設置開始から3年目に2名、4年目に2名、5年目に2名の合計6名を5年間で育成する計画である。また、研究については、第一に、現在流行している新型コロナウイルス感染症に対する対処の分析及び課題の抽出に着手し、研究成果を以て今後の有効な対策に寄与していく予定としている。他、医療従事者や行政担当者を対象とした新興感染症に関する基礎的な知識啓発や基本的な対処法を紹介することを目的としたセミナー開催などの活動を予定している。